

平成 27 年度  
学校関係者評価 報告書

学校法人 湘南ふれあい学園  
医療ビジネス観光情報専門学校

## 医療ビジネス観光情報専門学校 学校関係者評価報告

学校法人湘南ふれあい学園 医療ビジネス観光情報専門学校では、従前より学校教育及び学校運営について自己点検・自己評価を実施して、「自己点検」として当校のホームページに公表してまいりました。

また、今年度より学校関係者評価委員会を設置し、当校に関連する業界・企業の方々や保護者・卒業生等の学校関係者の皆様より当校の学校教育及び学校運営に対し、有益なご意見、ご指導を頂戴いたしました。

この学校関係者評価は、自己点検報告書を中心に行われ、委員の皆様より頂戴いたしましたご意見やご指摘を真摯に受け止め、これからの学校教育及び学校運営に活かすべく、ここに「平成 27 年度 学校関係者評価報告書」としてご報告させていただきます。

今後もこれら自己点検および学校関係者評価を継続し、学生指導と学校教育における質の保証及び学校運営の改善に取り組んでまいります。

平成 28 年 9 月 6 日  
学校法人 湘南ふれあい学園  
医療ビジネス観光情報専門学校  
校長 松尾 和夫

## 平成 27 年度 学校関係者評価委員会 開催概要

### 1. 学校関係者評価委員会開催日時

平成 28 年 8 月 30 日 (火) 15:00～16:25

### 2. 会場

本校 3 階会議室

### 3. 出席者

学校関係者評価委員			
	評価委員	所 属	役 職
1	山崎 和正	相模原商工会議所	理事 事務局長
2	山崎 透	医療法人康心会 康心会汐見台病院	医事課 課長
3	精松 俊輔	株式会社 FMC	情報システム室 室長
4	小室 理津子	厚木看護専門学校	(保護者)
5	山本 大介	医療法人康心会 湘南東部総合病院	(卒業生)

学校事務局			
1	松尾 和夫	医療ビジネス観光情報専門学校	校長
2	八巻 祐治	医療ビジネス観光情報専門学校	副校長
3	坂田 誠	医療ビジネス観光情報専門学校	医療ビジネス学科教務主任
4	杉山 行浩	医療ビジネス観光情報専門学校	情報システム学科教務主任
5	山田 茂樹	医療ビジネス観光情報専門学校	事務統括

### 4. 学校関係者評価委員会次第

- ① 開会
- ② 校長挨拶
- ③ 本日の出席者紹介
- ④ 委員長の選出
- ⑤ 学校基本情報説明
- ⑥ 平成 27 年度自己点検項目と評価報告
- ⑦ 質疑及びご意見
- ⑧ 閉会

## 5. 平成 27 年度自己点検に関する評価・意見

### 1. 教育理念・目標

評 価 項 目	適切…4、ほぼ適切…3 やや不適切…2、不適切…1
① 教育理念並びに教育目標が明確に示されているか	3.58
② 教育目標は卒業時の到達が読みとれるものになっているか	3.17
③ 教育理念並びに教育目標は定期的に見直されているか	3.50
④ 教育理念並びに教育目標が教職員・学生に浸透しているか	3.08

### 趣旨

本評価は学園の設立理念をもとに各学校の個性や特色を発揮し、教育活動を実施する上で必要な基本方針や事業計画を達成しようとする基本的な項目を言います。

学校・学科・コースでは養成しようとする人材像を明確にして、目標設定がされていることが前提とされます。

### 基本的な観点（評価のめやす）

#### 1－① 教育理念並びに教育目標が明確に示されているか

教育理念や教育目標を学則、学校案内、学生便覧、校内掲示、ホームページなどに示されている。

#### 1－② 教育目標は卒業時の到達が読みとれるものになっているか

卒業時に「どのような能力を」、「どの程度身につけていることが必要か」を明記している。

#### 1－③ 教育理念並びに教育目標は定期的に見直されているか

学生や社会のニーズに合っているか、少なくとも2～3年に1度は見直しをしている。10年以上見直されていない場合は不適切

#### 1－④ 教育理念並びに教育目標が教職員・学生に浸透しているか

校内の目に付くところ、職員室に掲示されている。また、校歌の中に謳われている。教職員、学生のほとんどが知らない状況は不適切

### 自己評価

① 教育理念：「人を尊び、命を尊び、個を敬愛す」は、募集要項のアドミッションポリシーをはじめ、校内掲示、ホームページで示されている。

教育目的：医療、観光に関わるビジネス並びに情報技術に関する専門知識及び技術を習得させ、社会人として必要な教養の向上を図り、地域社会に貢献し得る有能な人材を育成することを目的とする。（学則より）

教育目標：医療現場の実践的な技術や知識を元に「チーム医療」を支える病院スタッフを養成する学科です。医療事務職員としての心得を熟知し、患者様へホスピタリティ精神を持って接することのできる人材を育てます。（ホームページより）

- ② 医療・福祉・保険などの幅広い基礎知識を身につけ、病院経営の仕組みや法規、施設管理などの総務全般を学びます。さらに事務処理として必要となる診療報酬請求の点数計算やレセプト、電子カルテなどの知識も持つことで医療事務や病棟クランクも目指せます。また、日々IT化が進む医療環境へ対応するため、長年培ってきたコンピュータ教育のノウハウにより、IT技術+医療知識を身につけ、コンピュータ全般の知識を学ぶことで、知識や技術の幅が広がります。（ホームページより）
- ③ 毎年、事業計画案策定時にカリキュラム委員会を開催し、カリキュラムの改善・見直しを行っている。H27年度からは、教育課程編成委員会を年2回開催して、外部委員からも助言をいただき、H28年度・29年度のカリキュラムの改訂を実施した。
- ④ 教育理念については、学内および教員室内に掲示している。また、学園歌の中に謳われている。教育目標は、現在、ホームページでの掲載に留まっている。

### 課題と改善策

課題：②の教育目標は、HPで掲載されているが抽象的であり、卒業時に「どのような能力を」、「どの程度身につけていることが必要か」を十分に明記しているとは言えない。

改善策：可能なものは習得するスキルをより具体的に記述するように改善する。

### 評価・検討

②の教育目標を具体的にというのは、できる限り数値化して目標を立てるようにすべきではないかという意見が提示された。しかし、数値化できる項目を列举するとカリキュラムの各科目の到達目標に近くなり、細かくなりすぎることも懸念されるため学科の教育目標としての適性を考えて設定すべきとなった。

## 2. 教育活動

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3 やや不適切…2、不適切…1
① カリキュラムは教育目標が反映されているか	3.33
② 定期的なカリキュラムの見直しがなされているか	3.58
③ テキストや教材は適切なものを選定しているか	3.17
④ シラバスが作成され学生に配布されているか	3.67
⑤ 授業の点検・評価が適切に実施されているか	3.08

⑥ 資格試験の合格率は	3.00
⑦ 資格試験不合格者の対策は	3.08
⑧ 評価は適切な方法で行われているか	3.42
⑨ 目標に到達しない学生に対し適切なフォローがなされているか	3.17
⑩ 進級、卒業の判定・審査は適切に実施されているか	3.58

## 趣旨

教育活動の評価は学園の専門学校における教育の質の保証を示すものです。養成しようとする人材像と照らし合わせたカリキュラム内容が体系的に意味づけられていることや成績評価、進級・卒業判定などが適切に実施され、学修の成果を有効なものとすることが求められます。

## 基本的な観点（評価のめやす）

### 2-① カリキュラムは教育目標が反映されているか

教育目標を達成するために必要なカリキュラムになっている。

### 2-② 定期的なカリキュラムの見直しがなされているか

学習者や社会のニーズに合っているか、少なくとも2～3年に1度は見直している。

10年以上見直されていない⇒不適切

### 2-③ テキストや教材は適切なものを選定しているか

適切な内容か否か、学科や職員会議などで吟味している。また、協会等の団体などが推薦している書籍を使用している。

### 2-④ シラバスが作成され学生に配布されているか

毎年作成され、全学生に配布されている。

### 2-⑤ 授業の点検・評価が適切に実施されているか

全ての教科・教員が実施しており、改善が行なわれている⇒適切

### 2-⑥ 資格試験の合格率は

資格試験合格率（全国平均値など）と比較して+5ポイント以上⇒適切（4）

±0～5ポイント未満⇒3、-5ポイント未満⇒2、-5ポイント以上⇒1

### 2-⑦ 資格試験不合格者の対策は

試験対策授業や模擬試験の実施などフォローが行なわれている。

- 2-⑧ 評価は適切な方法で行われているか  
成績評価が定期試験の結果だけでなく、日々の学習状況も勘案して行なわれている。
- 2-⑨ 目標に到達しない学生に対し適切なフォローがなされているか  
補習授業や再試験、学習指導などの適切な支援がなされ、到達させている。
- 2-⑩ 進級、卒業の判定・審査は適切に実施されているか  
学則等規定に基づいて適性に行なわれている。

### 自己評価

- ① 毎年行われるカリキュラム委員会に先立ち各学科会議にて改善・見直しを行っている。H27年度からは教育課程編成委員会の開催後に、委員会からの助言を参考にカリキュラムの改善・見直しを行っている。
- ② 同上
- ③ 各学期終了時に行う学生による授業アンケートも参考に、各教員が授業内容と学生の理解度等を考慮してテキスト等の教材を選定している。
- ④ シラバスは、ペーパーレス運動の一環として学内サーバにて公開しているが、必要に応じてプリント配布も行っている。
- ⑤ 各学期に、教員による授業の自己点検および学生による授業評価（アンケート）を全科目にて実施している。集計結果は、各教員にフィードバックされている。
- ⑥ 各試験で対策授業が実施され、必要に応じ個別指導も行っている。また、対策授業の方法についても、各学科内で検討・見直しを行っている。
- ⑦ 再受験可能なものは、不合格者に対して再受験対策授業を実施している。
- ⑧ 各教科で、シラバスに評価基準（試験結果・課題の提出・出席率・授業態度等）が記載されている。
- ⑨ ⑦の他、通常授業についても必要に応じて補講を実施している。
- ⑩ 学則に基づき、前期終了時に単位取得の判定会議、後期終了時に卒業・進級判定会議を実施している。

### 課題と改善策

課題：⑥各試験で合格率を向上させるために対策授業を実施するが、年々その負荷は大きくなっている。また、個別の指導も増加傾向である。

改善策：対策授業だけでなく、通常授業での理解度を向上させることが求められている。そのため、教員は指導方法としてアクティブラーニング等の導入をしていくことが必要で

ある。

## 評価・検討

③の授業評価を各学期に実施しているが、四半期に1度の割合で実施してはどうかという意見が提示された。実施する際は、各期の中間での授業評価の目的を明確にして、教員講師・学生に告知してからの実施となる。また、現在のペーパーによるアンケート調査であると集計に時間が係ることもあり、調査方法も検討すべき。

⑥の資格試験の対策が実施されているが、合格率に対する評価は全国平均との比較で行っているのかという質問があった。本校で取得目標の資格の多くは、複数回受験が可能なものが多いため、各回の試験合格率ももちろん重要ではあるが、卒業時までの資格取得率も重視しているため、評価は取得率も含めたものとしていた。より合格率を重視すべきである。

⑥⑦⑨に関連して、医療事務分野は、資格がなくても就職でき、仕事をする際重要なのは、資格よりも人間性である。その育成をするために、どのような努力・工夫をしているのかという質問があった。授業としては「ケアコミュニケーション」「就職セミナー」等で社会人基礎力を身につけるよう指導している。また、学校行事での学生指導も資質向上に結び付けている。これらの指導をより一層強化すべきである。

## 3. 学生受入れ

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3 やや不適切…2、不適切…1
① 学生募集のための広報資料の表現・内容並びに広報活動の方法や時期は適切か	3.00
② 入学案内には志願者が必要とする情報が掲載されているか	3.08
③ 募集要項の内容は適切か	3.42
④ 学校説明会、学校見学会、体験入学の時期、内容は適切か	3.17
⑤ 入学者選抜の時期、方針、方法は適切か	3.17
⑥ 志願者状況、定員充足率はどうか	2.25
⑦ 中途退学の理由・実状を適切に把握しているか	3.25

### 趣旨

本評価は学生の受入れに関して、公正かつ妥当な方法、適切な体制にて実施されていることや、教育の目的にふさわしい資質を備えた学生を選抜していることの評価です。また、学生数の充足や休・退学の状況についても把握できる教育体制について評価します。

## 基本的な観点（評価のめやす）

- 3-① 学生募集のための広報資料の表現・内容並びに広報活動の方法・時期は適切か
- ・あらゆる年齢層からも視覚的、表現的に理解しやすい内容になっている。
  - ・学校案内において虚偽誇大表現、記載がない。
  - ・学校案内が5月上旬に完成し、高校訪問を6月中に最低1回行なわれている。
- 3-② 入学案内には志願者が必要とする情報が掲載されているか  
教育理念、目標、教育課程、修業年限、カリキュラム、施設概要、卒後の進路、学校の特徴などが掲載されている。
- 3-③ 募集要項の内容は適切か  
教育課程、修業年限、募集人員、選考の期日・方法、出願手続き、費用、入学手続き、問い合わせ先などが記載されている。
- 3-④ 学校説明会、学校見学会、体験入学の時期、内容は適切か  
年間6～7回の説明会・見学会が開催されている。また、アンケート調査などによって、参加者のニーズを把握している。
- 3-⑤ 入学者選抜の時期、方針、方法は適切か
- ・高校生の推薦入試願書受付開始時期は10月1日以降開始になっている。
  - ・公平な選抜ができるような試験方法である。
  - ・試験問題や作文・小論文のテーマのレベルが適切である。
- 3-⑥ 志願者状況、定員充足率はどうか
- ・志願者倍率がでている。
  - ・定員を満たしている⇒4、 1割減⇒3、 1～3割減⇒2、 4割以上減⇒1
- 3-⑦ 中途退学の理由・実状を適切に把握しているか
- ・卒業率100%⇒4、90%以上⇒3、89～80%⇒2、79%以下⇒1
  - ・適切に把握して進級率、卒業率向上に繋げている。

## 自己評価

- ① 年度末に新学科編成が決定し、学校パンフレット作成が遅れ、簡易版が5月に用意できた。
- ② 簡易版であるため、学科の教育目標についての記載が少ない。
- ③ 募集要項には、必要な項目はすべて記載されている。

- ④ H27 年度には、39 回のオープンキャンパスないし学校説明会を開催している。
- ⑤ AO 入試出願は 8 月 1 日開始、推薦入試願書受付は 10 月 1 日開始である。留学生入試では、日本語能力の客観的試験を実施した。
- ⑥ 留学生を合わせた志願者・入学者で定員を充足しているが、日本人のみでは定員を充足していない。
- ⑦ H26 年度入学生 81 名（内 7 名が留学生）中、退学 4 名、除籍 5 名（全員留学生）を除く卒業生 72 名で卒業率 88.9%（日本人のみでは 94.6%）であったが、H27 年度入学生 145 名（内 57 名が留学生）については、休学者 1 名、退学者 6 名、除籍者 13 名（内 12 名が留学生）で、進級率が 86.2%となっている。

### 課題と改善策

課題：⑦除籍者 13 名（内 12 名が留学生）で、全員が経済的問題をかかえ、授業料未納が原因となっている。

改善策：留学生については、H28 年度より入試時に経済的問題の有無について十分確認している。

### 評価・検討

- ④オープンキャンパスの実施状況について、ほぼ毎週実施していることから、各回の参加者数が分散して少なくなる傾向がある。内容をさらに再検討し、各回の独自性を持たせて企画すべきである。
- ⑥の学生募集に関して、留学生は、母国へ行って募集活動をしているのか質問があったが、本校では実施していない。日本語学校からの進学者であることを確認した。

## 4. 教職員組織

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3 やや不適切…2、不適切…1
① 専任教員は指定規則・設置基準等を満たしているか	3.00
② 専任教員 1 人当たりの担当科目時間数は適切か	3.00
③ 教職員の業務分掌は明確になっているか	3.33
④ 教職員の能力、業務内容の評価を定期的実施しているか	3.00
⑤ 教職員の資質向上のためのシステムは適切に構築されているか	2.67
⑥ 職員は業務が滞りなく遂行できる人数を雇用しているか	2.67

## 趣旨

教職員が適正に配置され、教育等の目的の達成に向けて機能しているのかを評価します。

また、教育の質など学生へのサービス向上に対する取り組みがなされているのかを検証します。

## 基本的な観点（評価のめやす）

4-① 専任教員は指定規則・設置基準等を満たしているか

- ・設置基準の数より多い⇒4、設置基準の数⇒3、以下は不適切
- ・クラス数と同数の専任教員がいるなど

4-② 専任教員1人当たりの担当科目時間数は適切か

- ・週12時間以内⇒4、13～18時間⇒3、19～24時間⇒2
- 25時間以上⇒1

4-③ 教職員の業務分掌は明確になっているか

業務分掌が定められ円滑に遂行されており、定期的な報告がなされている。

4-④ 教職員の能力、業務内容の評価を定期的実施しているか

上長により適性に質の管理がなされている。

4-⑤ 教職員の資質向上のためのシステムは適切に構築されているか

- ・学内研修が定期的開催され、職員の質的向上を図っている。
- ・外部研修や学会等へ参加させている。

4-⑥ 職員は業務が滞りなく遂行できる人数を雇用しているか

職員不足により業務に支障をきたしていないか。

## 自己評価

- ① 設置基準である人数を充足している。商業実務分野（基準：3名）に6名、工業分野（基準：3名）に4名在籍している。
- ② 担当時間は、8～13時間となっている。
- ③ 教職員は校務分掌を担当し、毎年見直しを行っている。
- ④ 年3回、各教職員は個人PDCを作成し、所属長がそれに基づく評価と面談を行っている。
- ⑤ 学園の教育部会が策定した研修計画に沿って、2ヶ月に1回の割合で研修が行われている。

るが、外部研修については、本人の申請により参加できるが、有料の研修会への参加が少ない。

- ⑥ 事務課職員が5名から4名となり、各人の事務分担の負荷が大きくなっていった。

### 課題と改善策

課題：外部研修については、有料の研修会への参加が少ない。

改善策：教員研修計画を作成して、外部研修を積極的に奨励して研修申請をする。

### 評価・検討

- ⑤の教員の外部研修が実施されていることはとても良い。他の項目は特に問題なし。

## 5. 施設・設備等

評 価 項 目	適切…4、ほぼ適切…3 やや不適切…2、不適切…1
① 講義室は学習を行うのに十分な面積を有しているか	3.42
② 実習室は実習を行うのに十分な面積を有しているか	3.25
③ 実習設備は整備されているか	2.58
④ 講義室・実習室の管理は適切に行われているか	3.00
⑤ 学生が自学実習できる教室を有しているか	3.00
⑥ 図書室は適切に整備されているか	2.25
⑦ 保健室は適切に整備されているか	3.00
⑧ 教育用機器備品は整備され活用されているか	3.00
⑨ 教員室の管理は適切に行われているか	3.33
⑩ 事務室の管理は適切に行われているか	3.33

### 趣旨

各学校が目的に沿った教育課程の実現に必要とされる施設・設備が整備され、機能しているかどうかを評価します。

### 基本的な観点（評価のめやす）

- 5-① 講義室は学習を行うのに十分な面積を有しているか

法令を遵守しているか？ 設置基準より余裕のある面積が確保されているか？

- 5-② 実習室は実習を行うのに十分な面積を有しているか

法令を遵守しているか？ 設置基準より余裕のある面積が確保されているか？

5-③ 実習設備は整備されているか

法令を遵守しているか？ 実際に実習に使用されているか？

5-④ 講義室・実習室の管理は適切に行われているか

適切な管理者を置くとともに、管理マニュアルを整備して管理している。

5-⑤ 学生が自学実習できる教室を有しているか

5-⑥ 図書室は適切に整備されているか

- ・学生数に見合った面積、机や椅子が配置されている。
- ・学生数、分野に見合った数の蔵書を備えている。
- ・書籍等の貸し出しが適切に行なわれている。
- ・司書が置かれ、図書の管理が行なわれている。

5-⑦ 保健室は適切に整備されているか

ベッドや毛布等が備えてあり、応急処置のための常備薬などの備えもある。

5-⑧ 教育用機器備品は整備され活用されているか

法令を遵守していることはもちろん、円滑な学習に必要な視聴覚機材等を備えてある。

5-⑨ 教員室の管理は適切に行われているか

- ・個人情報など重要な情報管理が徹底されている。
- ・事業所としての衛生管理が徹底されている。

5-⑩ 事務室の管理は適切に行われているか

- ・個人情報など重要な情報管理が徹底されている。
- ・事業所としての衛生管理が徹底されている。

## 自己評価

- ① 設置基準を満たしている。
- ② 設置基準を満たしている。
- ③ コンピュータの経年劣化が進み、スムーズな操作には不十分な状態のマシンが増えている。
- ④ 各教室や備品の管理担当者を配置し、備品管理をしている。

- ⑤ 空き教室や学生ホールを利用して、学生は自習できている。
- ⑥ 現在、PC0 教室が図書室となっているが、図書室として活用はされていない。図書の整備や閲覧環境が不十分な点がある。
- ⑦ 保健室は整備されている。
- ⑧ プロジェクター、スクリーン、DVD プレーヤー等必要な機器は配備されている。
- ⑨ 学生の教員室への入室方法は、ルール化されている。個人情報の取り扱いに注意し、施錠できる机の引出し等で管理している。
- ⑩ 事務室には、受付以外に部外者の入室は禁止されており、個人情報等は施錠できるキャビネットや金庫で管理している。

### 課題と改善策

課題：③のコンピュータの経年劣化による授業環境の悪化

⑥の PC0 教室が図書室となっているが、図書室として活用はされていない。ほとんどの学生が参考資料はインターネットで検索しているため、一部の空き PC 教室を利用している。

改善策：③の改善策は、予算化して新規の機器の導入を考えたい。

⑥の改善策は利用できる空き PC 教室を増やす。

### 評価・検討

・③の実習設備の整備で評価が低いのは、学内の授業用コンピュータが古くなっていることが大きな要因であり、これから順次予算化して整備する予定とのこと、是非実行してほしい。

・⑥の改善策の通り、今後も学生が図書を参照するよりインターネットで調査することが多いと思われるので図書室の評価が低くなって行くと思われる。学生がネットワークを利用できる環境の一層の整備を期待したい。

## 6. 学生生活支援

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3 やや不適切…2、不適切…1
① 奨学金等、経済的支援は整備されているか	3.00
② 学生相談、カウンセリングに関する体制が整備・機能しているか	3.58
③ 各学校行事について、適切な事後反省を行っているか	3.50
④ 防犯・防災訓練の実施等、不法侵入・災害に対する整備は万全か	3.17
⑤ セクシャルハラスメントに対する防止・対応策が整備されているか	3.25
⑥ 進路活動に関する支援が整備され、機能しているか	3.42

**趣旨**

学生は自らの努力では解決することが困難な、学習上また生活上の様々な問題に直面します。これら学生が抱える問題に関して、学校として適切な支援体制について評価します。

**基本的な観点（評価のめやす）**

## 6-① 奨学金等、経済的支援は整備されているか

- ・独自の奨学金制度の有無
- ・日本学生支援機構奨学金などの利用支援や「国の教育ローン」等、奨学金以外の紹介を行なっている。
- ・学則の範囲内で授業料分割等の処置を行なっている。

## 6-② 学生相談、カウンセリングに関する体制が整備・機能しているか

- ・学生相談室を開設している。
- ・スクールカウンセラーによるカウンセリングを希望する学生が定期的にいる。
- ・学生からの相談を後回しにしていないか。
- ・秘密漏洩に対し細心の注意を払っているか。

## 6-③ 各学校行事について、適切な事後反省を行っているか

- ・行事運営中、進行に不手際がなかったか。
- ・学生、教職員ともに事故がなかったか。
- ・事後反省会を開催しているか。

## 6-④ 防犯・防災訓練の実施等、不法侵入・災害に対する整備は万全か

- ・危機管理マニュアル等が整備されている。
- ・マニュアルを教職員が把握し、非常時に対応できるようになっている。
- ・訓練等が定期的実施されている。
- ・学内のセキュリティ機能が整備されている。
- ・災害時の飲料水・非常食、毛布等の確保の状況。

## 6-⑤ セクシャルハラスメントに対する防止・対応策が整備されているか

- ・学校危機管理マニュアルの1つとして整備されている。
- ・学生相談のシステム等が確立している。

6-⑥ 進路活動に関する支援が整備され、機能しているか

- ・進路相談を実施している。
- ・面接や履歴書の書き方等の指導を実施している。
- ・進路ガイダンス等、学生と事業所が接触できる場をつくっている。
- ・求人票の掲示等は事業所から頂いた後、すぐ行なっている。

6-⑦ 新たな求人開拓の努力はしているか

- ・年度はじめに求人先へ礼状や希望者がいなかった場合の詫言状を送付している。
- ・企業（病院など）訪問を定期的に行なっている。
- ・産学連携の推進などによる求人開拓を実施している。

### 自己評価

- ① 日本学生支援機構奨学金などの利用支援や「国の教育ローン」等の紹介を行なっている。授業料の分納にも対応している。
- ② スクールカウンセラーによるカウンセリングを定期的（月2回）に実施している。
- ③ 各行事で委員会の反省会、学生へのアンケート、教員の反省会を実施している。
- ④ 危機管理マニュアルを整備し、防災訓練も毎年実施している。災害時の飲料水・非常食、毛布等は人数分確保している。
- ⑤ 本年度より、ハラスメント委員会と名称を変更し、セクシャルハラスメントに限らず、学内での様々なハラスメントに対応することになった。
- ⑥ 就職関連授業やセミナーを通してきめ細かく指導している。就職担当だけでなく、各担任も協力して指導している。
- ⑦ 求職票の送付や新たな企業への訪問等を実施している。

### 課題と改善策

課題：②に関連して留学生に対する就職サポートが十分ではない。

改善策：留学生を積極的に採用している企業の開拓をする。

### 評価・検討

①の学校独自の奨学金制度についての指摘があり、ふれあいグループからの奨学金制度があり実績もあることを確認した。

②の留学生に対して、母国語で対応できるカウンセラーを配置すべきではないかと指摘を受けた。留学生がしっかりと就職・進学ができるようにサポートを手厚くすべきである。

## 7. 管理・運営

評 価 項 目	適切…4、ほぼ適切…3 やや不適切…2、不適切…1
<b>◆学校で評価する項目</b>	
① 学則や学内組織及び委員会等の諸規程が定期的に見直されているか	3.33
② 組織間、各部署間の連携は適切に図られているか	3.00
③ 消防計画、学校安全計画等は適切に整備されているか	3.42
④ 個人情報保護法を遵守しているか	3.50
<b>◆評議員及び学園本部で評価する項目</b>	
⑤ 理事会・評議員会は適時適切に開催され、機能しているか	4.00
⑥ 理事会、評議員会の議事録は適切に作成、管理されているか	4.00
⑦ 就業規則などの諸規程は適切に整備されているか	4.00
⑧ 財務分析比率は適切な数字になっているか	4.00
⑨ 学校の財務情報を公開する適切な体制が整備されているか	4.00

### 趣旨

各学校が教育等の目的の達成に向けて組織がしっかり機能しているか、また、教職員の責務などが明確に規定され、組織として効果的な意思決定がなされているのかなど、学園全体の活動やその成果について評価します。

### 基本的な観点（評価のめやす）

#### ◆学校で評価する項目

7－① 就業規則などの諸規程・学則等が定期的に見直されているか

- ・法律の改定等により、その都度変更を行なっている。
- ・社会状況を把握し、ニーズに合った内容になっている。

7－② 組織間、各部署間の連携は適切に図られているか

校内ネットワーク等の活用によりの確な情報交換が行なわれている。

7－③ 消防計画、学校安全計画等は適切に整備されているか

- ・消防計画は消防署等へ届け出ている。
- ・学校安全計画は毎年度初めに作成されている。

7－④ 個人情報保護法を遵守しているか

個人情報保護法に則り、学籍簿、入学願書等の入試資料、定期試験結果等の書類が厳重に管理されている。(施錠できるラック等)

### 自己評価

- ① 各委員会で、年間計画と反省をはじめ、現状に対応すべく規定も見直している。
- ② 各委員会会議、学科会議、教務主任会議、学内運営会議で必要事項を検討し、教職員会議にて周知・承認をしている。
- ③ 消防計画を届け出て、毎年、全校で防災・避難訓練を実施している。
- ④ 事務課で、施錠できるキャビネットで保管・管理している。
- ⑤～⑨の財務については学園本部にて評価している

### 課題と改善策

課題：③の防災備品で不十分なものがある。

改善策：今年度は、学生および教職員用防災ヘルメットを整備した。順次拡充してゆく。

### 評価・検討

④の個人情報保護について、学校で学生のマイナンバーを取扱うことについての質問があったが、現在取扱う予定はないことを確認した。

⑤～⑨の財務については学園本部にて評価していることに対して、特に問題なしと評価された。